

平成18年4月5日
原子力安全対策室

志賀原子力発電所1号機の制御棒ひびについて

北陸電力(株)より、定期検査中の志賀原子力発電所1号機において、制御棒の目視点検を実施していたところ、本日午前9時25分にひびが確認されたとの連絡があった。

ひびの発生箇所は制御棒の駆動に影響がない部位であり、機能上の問題はないとしており、今後、ひびの形状、発生原因等について、調査を行う予定である。

北陸電力(株)では、今回の定期検査においては、4本の制御棒のみを点検する予定としていたが、今後、制御棒全数(89本)の点検を行うとのことである。

なお、現在、1号機は定期検査中であり、直ちに原子力発電所の安全性に問題が発生することはない、本事象による外部への影響もない。

本件は、連絡基準Ⅲ(2)に該当し、翌月の10日までに連絡することとなっている事象であるが、制御棒という重要な機器でのひび割れ事象であることから、本日、公表することとしたもの。

県では、本日午前10時から実施した立入調査において、制御棒の検査状況等の確認を行った。

参考(北陸電力HP)：<http://www.rikuden.co.jp/press/attach/06040503.pdf>

連絡先 原子力安全対策室(内線4234) TEL 076-225-1465
